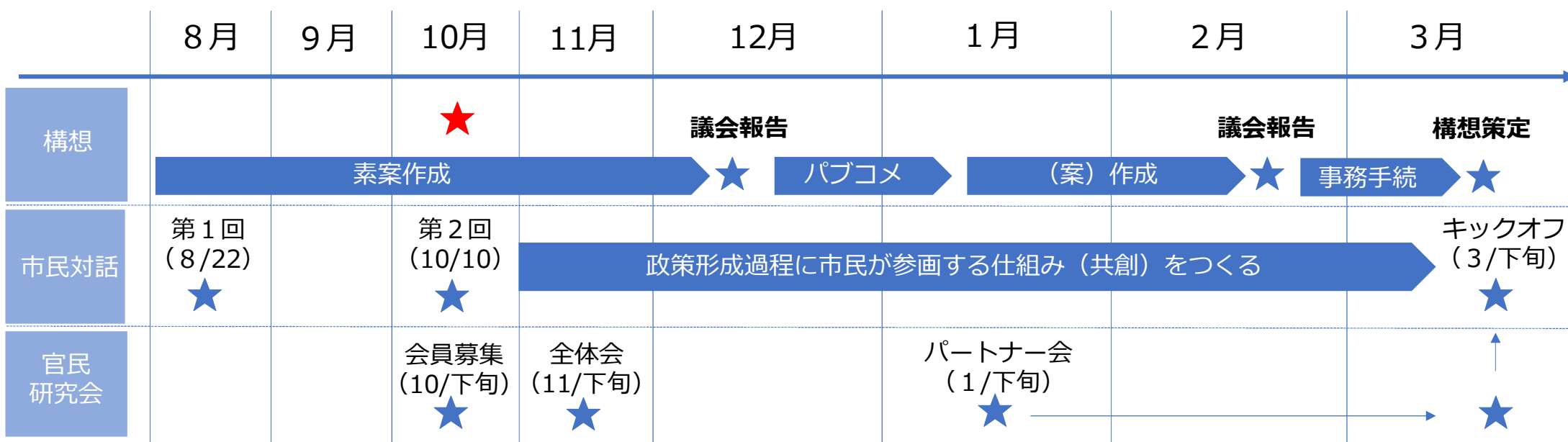


【目次】

- 1 鎌倉市スマートシティのスケジュールについて
- 2 鎌倉市スマートシティ官民研究会について
 - (1) 鎌倉市のスマートシティの背景・目的
 - (2) 推進体制
 - (3) 基本理念・基本原則（案）
 - (4) 価値創造
 - (5) 官民研究会
 - (6) 一般会員の募集
 - (7) 次回全体会の概要
- 3 スーパーシティの状況について

1 鎌倉市スマートシティのスケジュール①

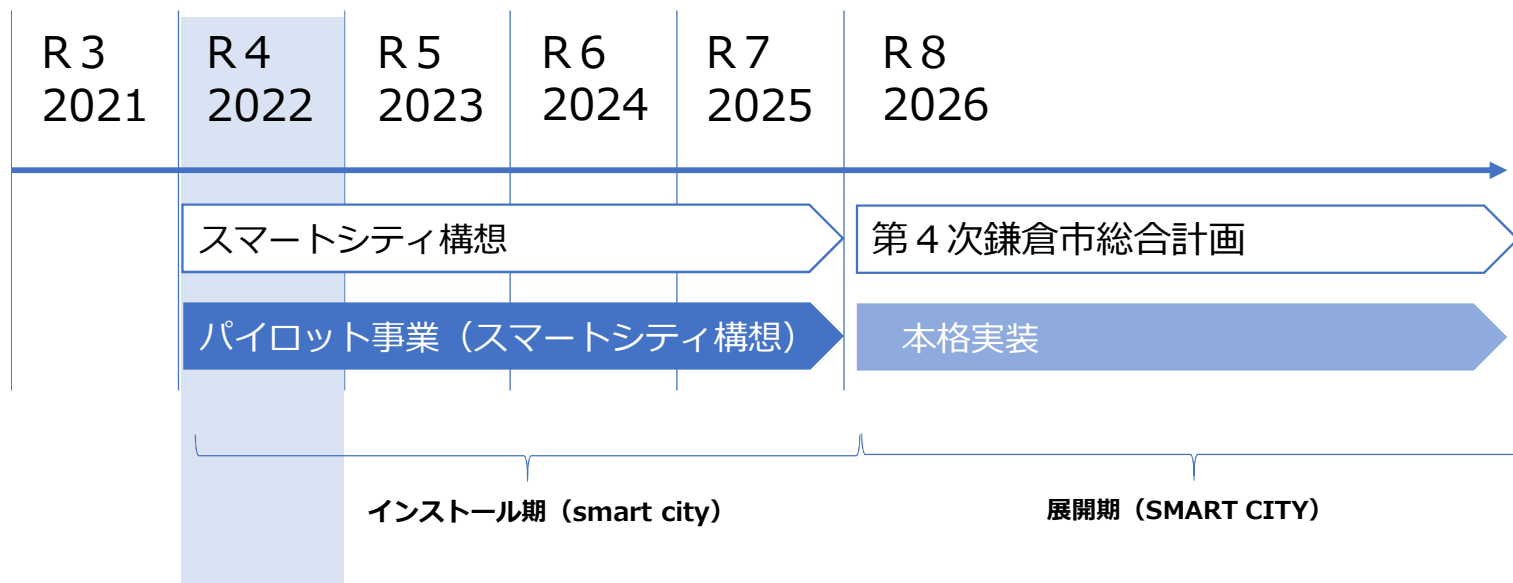
R3スマートシティ構想策定事業



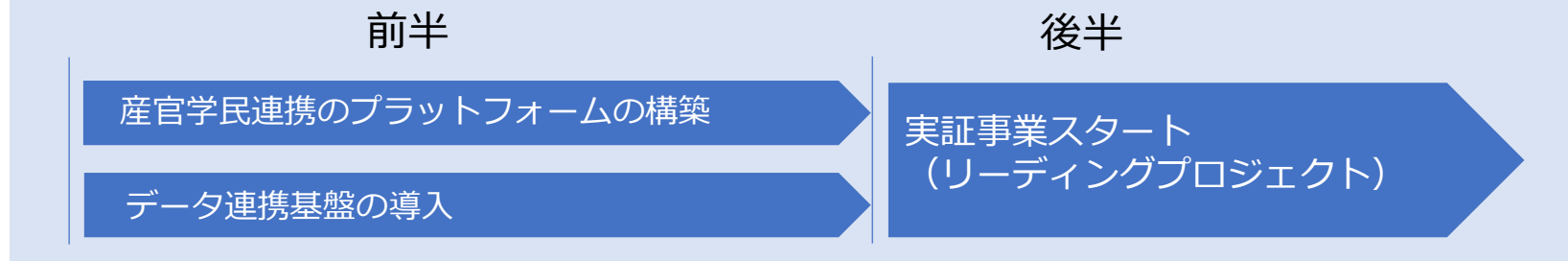
※スケジュールは現時点での想定です

1 鎌倉市スマートシティのスケジュール②

全体スケジュール

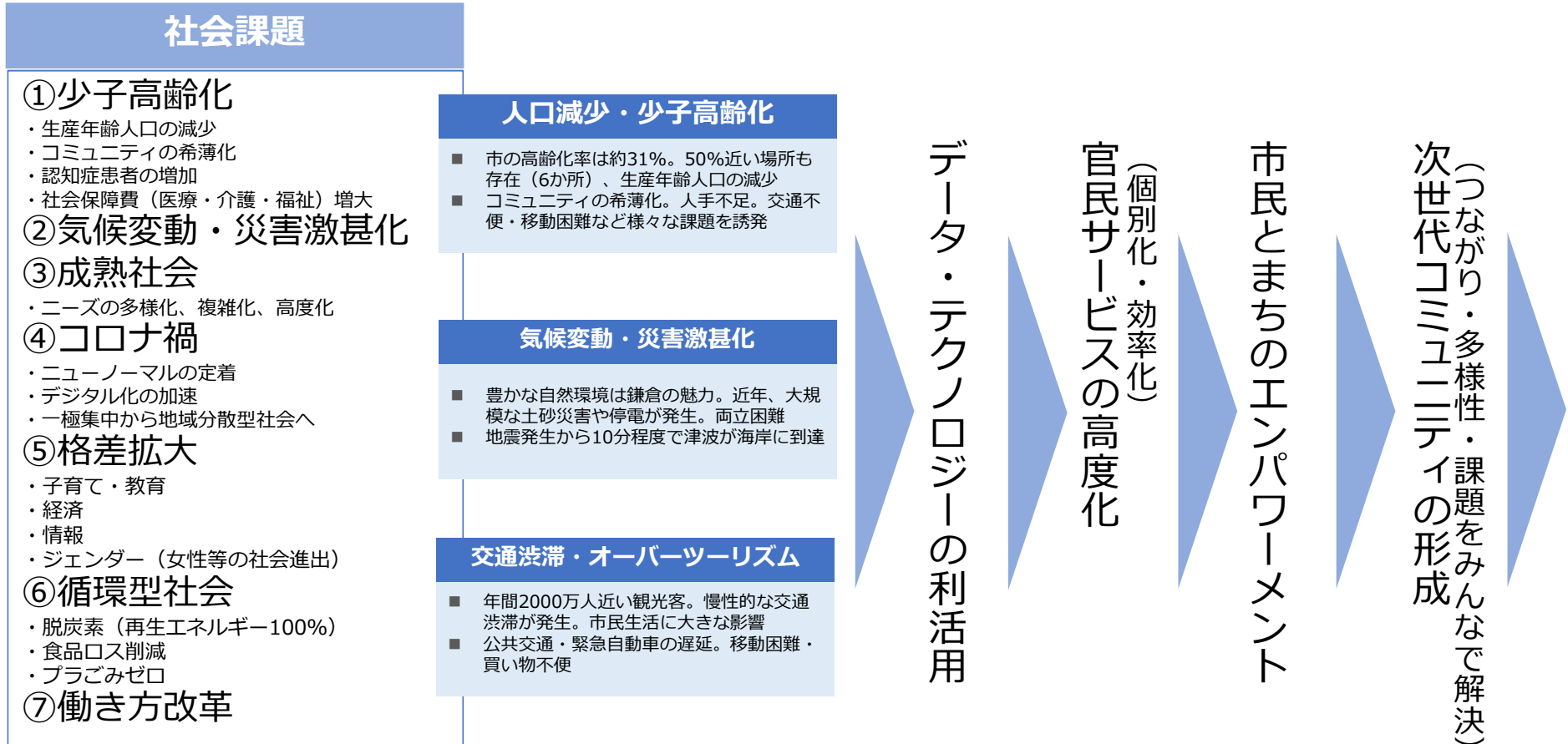


R4パイロット事業



2 (1) 鎌倉市のスマートシティの背景・目的

産官学民のオープンイノベーションの環境整備／市民参加型のスマートシティの構築



誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会

【参考】 鎌倉市のスマートシティの背景・目的

- 鎌倉のまちは、鎌倉駅周辺や谷戸地形などに代表される古くから住宅地や商店街として土地利用が進んできた場所、大船駅周辺などに代表される都市的土地利用が進む場所、さらに高度経済成長期に開発された大規模住宅地などの既存市街地①と、新たなまちづくりが進む場所②と性格の異なる2つの地域が存在
- 性格の異なる地域がそれぞれの特性を生かした役割を果たし、互いに影響しあうことで、市域全体のポテンシャルを高めていく

1

旧鎌倉地区や大船地区などの既存の市街地で発生している①災害激甚化、②交通・観光の適正化、③超少子高齢化などの地域課題に対し、データやテクノロジーを活用して先行して取組む

未来への循環

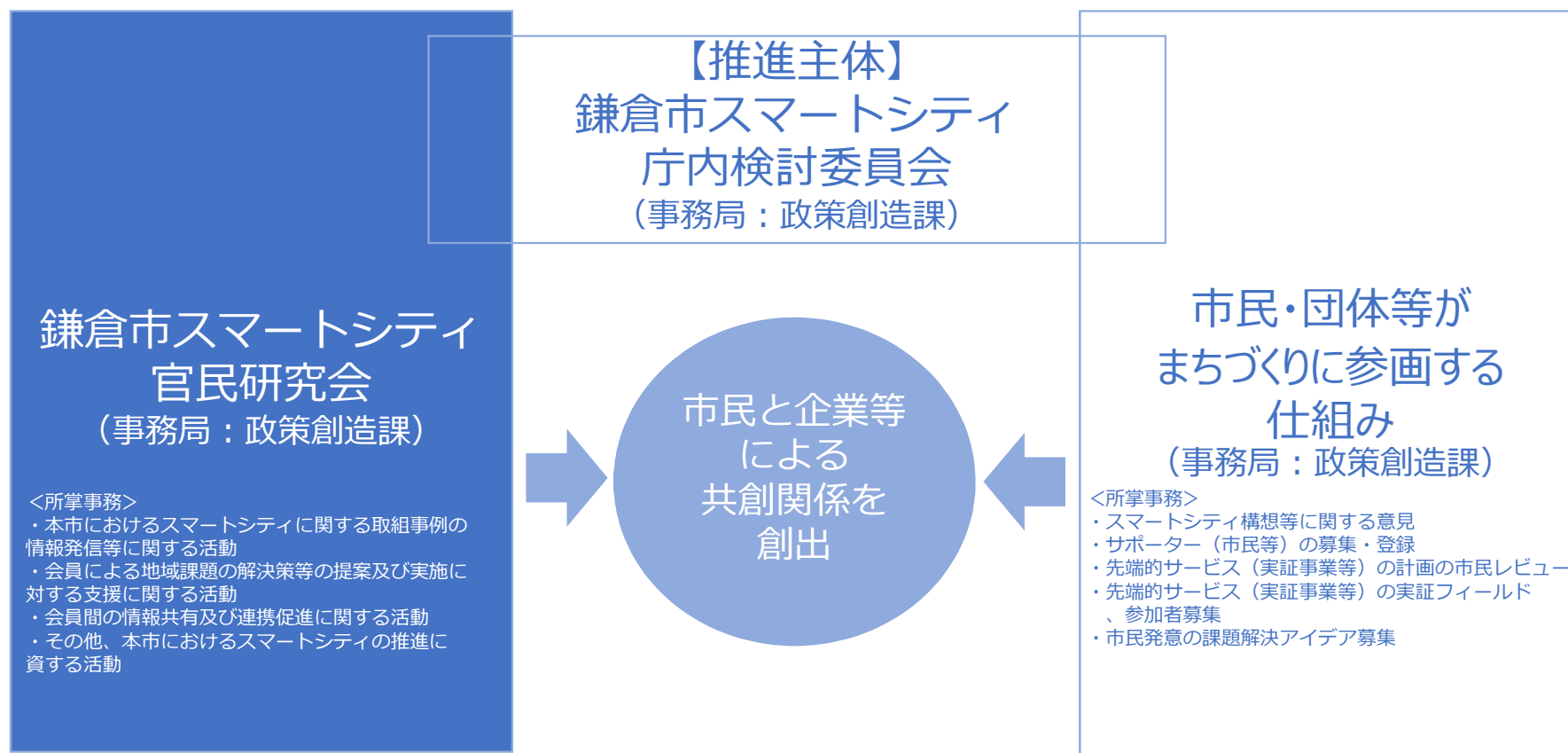
2

既存の市街地での取組で得た知見を、今後開発が進む深沢地区の新たなまちづくりに生かす
さらに、深沢のまちづくりの成果を既存の市街地にフィードバックし、新たなまちづくりと既存の市街地のまちづくりを立体的に取組む



2 (2) 推進体制

鎌倉市スマートシティ庁内検討委員会がハブとなり、市民のQOL・まちの価値向上につながる先端的サービスの提案を担う鎌倉市スマートシティ官民研究会と、まちづくりを担う市民・団体等の連携を促進（共創関係の創出）



2 (3) 基本理念・基本原則 (案)

誰もが生涯にわたって、自分らしく安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指し
次の理念と原則に従い、テクノロジーやデータを活用したスマートシティの取組を推進します

基本理念

1

“市民起点”

市民ニーズや課題を起点にデータやテクノロジーを課題解決の手段として活用し、市民の生活の質の向上を目指す。

2

“共生の精神”

市民力・地域力を活かし、自然をはじめまちに関わる全ての要素を繋げ、地域課題を解決し、まちの魅力を高める。

3

“鎌倉らしさの継承”

古いものを大切にしながら、積極的に新しいものを取り入れ、新たな価値を築く。

基本原則

1

公平性・包摂性 社会的影響

▼誰一人取り残さない共生社会を実現するために、デジタルバйдの解消に取組み、全ての市民が等しくデータやテクノロジーに支えられたサービスを享受できるように努めます。
▼鎌倉の文化や歴史を踏まえたWell-Beingを可視化し、定量的な評価を基に取組みを継続的に進化させます。

2

プライバシー 保護・透明性

▼個人情報保護の関連法令を遵守し、透明性の高いルールと手続きに従い、本人同意により個人情報の取得、提供（オプトイン）するなど、プライバシーの確保を徹底します。
▼市民の理解と信頼に基づくデータの利活用に努めます。

3

相互運用性 ・オープン性

▼地域やシステム、分野の壁を越えた高度なデータやサービスの連携による相互運用性を確保し、サービスの全体最適化と新たな価値の創出を図ります。

4

安全・安心 ・強靱性

▼激甚化する災害やCOVID-19等の感染症、など予測困難な事態に直面した場合でも、最低限の都市機能や社会経済システムの継続性を維持しながら、早期に復旧できるレジリエントな体制を確保します。

5

持続可能性

▼新たなサービスやソリューション、事業の立ち上げにあたっては、社会実装を見据え受益者を意識した事業設計を行うことで、運用面・財政面の両側面から持続可能性を確保します。

6

対話・共創 ・主体性

▼市民を中心に、産官学民のマルチステークホルダーによる主体的かつ能動的な対話と丁寧な合意形成を重視した取組を進めます。
▼合意形成にあたっては、データやテクノロジーの利活用に伴い発生するおそれのあるリスクや倫理的課題の明確化を徹底します。

アンケート調査

スマートシティに期待する点、懸念点

1

共生社会の実現に向けたスマートシティの推進に関する意識・価値観調査

1. 調査地域 鎌倉市全域
2. 調査対象 満 18 歳以上の市民
3. 調査対象数 4,000 人
(各 2,000 人の A グループ / B グループ)
4. 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
5. 調査時期 令和3年4月～5月
6. 調査方法 調査依頼を郵送し、回答は郵送回答又はインターネット回答
・ 満 65 歳未満は郵送依頼・インターネット回答
・ 満 65 歳以上は郵送配布・郵送回答

「共生社会の実現に向けたスマートシティの推進に関する意識・価値観調査」

単純集計結果

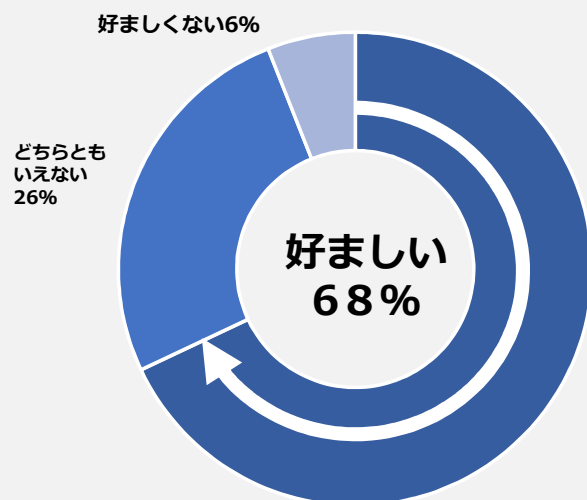
目次	
1. 新型コロナウイルス流行による影響について	P.2
2. インターネット・情報通信機器の利用状況について	P.4
3. スマートシティと行政のデジタル化の推進について	P.21
4. 鎌倉市の情報発信について	P.29
5. 鎌倉市の推進する共生社会について	P.38
6. 地域活動への参加について	P.45
7. マナーや規制と価値観について	P.46
8. あなたの考え方・価値観や、あなた自身のことなどについて	P.51

■ 調査の概要	
調査地域	鎌倉市全域
調査対象	満18歳以上の市民(2021年3月1日時点)
調査対象数	4,000人(各2,000人のAグループ/Bグループ)
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	調査依頼を郵送し、回答は郵送回答又はインターネット回答 ・ 満 65 歳未満は郵送依頼・インターネット回答 (ただし、郵送回答希望者には別途調査票を送付) ・ 満 65 歳以上は郵送配布・郵送回答 <回答率向上施策> Aグループのみ、回答率を向上させる複数の方法を用いました ① 事前協力依頼 調査対象者に、調査依頼の6日前に、調査対象者になった旨を通知し、協力を依頼。 ② 督促 調査締切後、未回答の対象者に改めて協力を要請するとともに、締切を延長。 ③ 謝礼 締切までに回答を頂いた全回答者に、クオカード 300 円分を贈呈。さらに、早期回答者(発送後 9 日以内)へは 200 円分を追加し、全体の回答率目標(70%)を達成した場合には、全回答者にさらに 200 円分を追加。
調査期間	4月16日(金)～4月30日(金) ・ Aグループのみ、督促実施後 5月 21日(金)へ延長
回収結果	Aグループ:1,188票(回収率59.4%) / Bグループ:609票(回収率30.5%)
■ 数値の見方 各設問の無回答には無効回答を含んでいます(問 A で「はい」を選んだ人を対象とした問 B に、問 A で「いいえ」を選んだ人が回答している場合など)	

共生社会の実現に向けた スマートシティの推進に関する意識・価値観調査

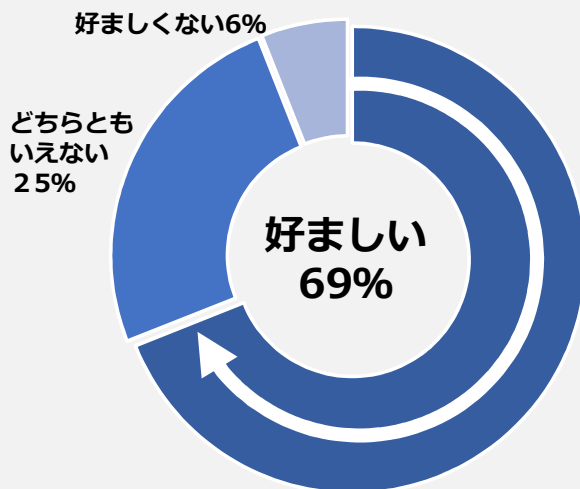
Point 1

社会のデジタル化の進行に関して、どのような印象を持っているか



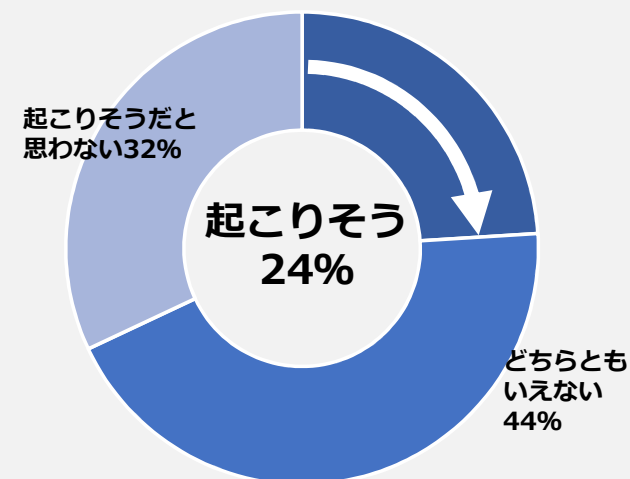
Point 2

鎌倉市がデジタル化を推進することに関して、どのような印象を持っているか



Point 3

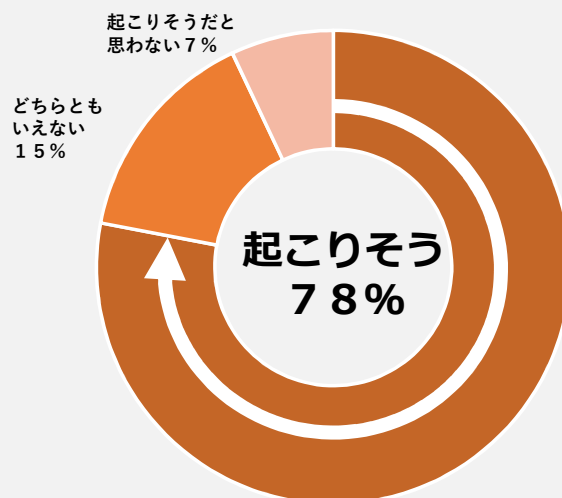
一人ひとりに合わせたサービスが可能になり、社会から孤立する人が減る



共生社会の実現に向けた スマートシティの推進に関する意識・価値観調査

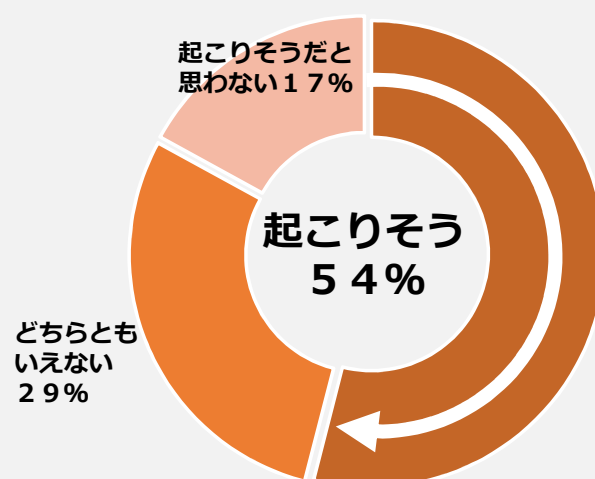
Point 1

個人情報やプライバシーの
権利が脅かされる



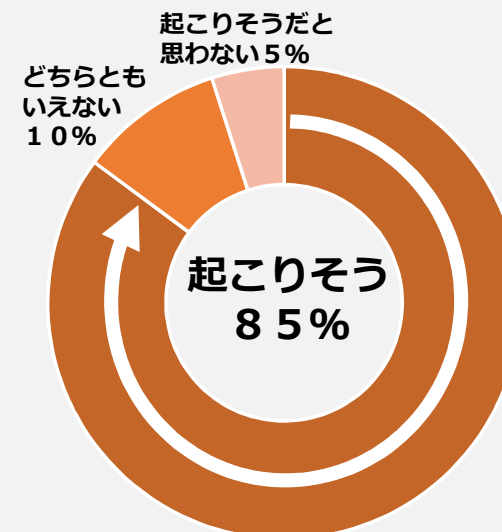
Point 2

触れ合いが減り、地域のコ
ミュニティが失われる



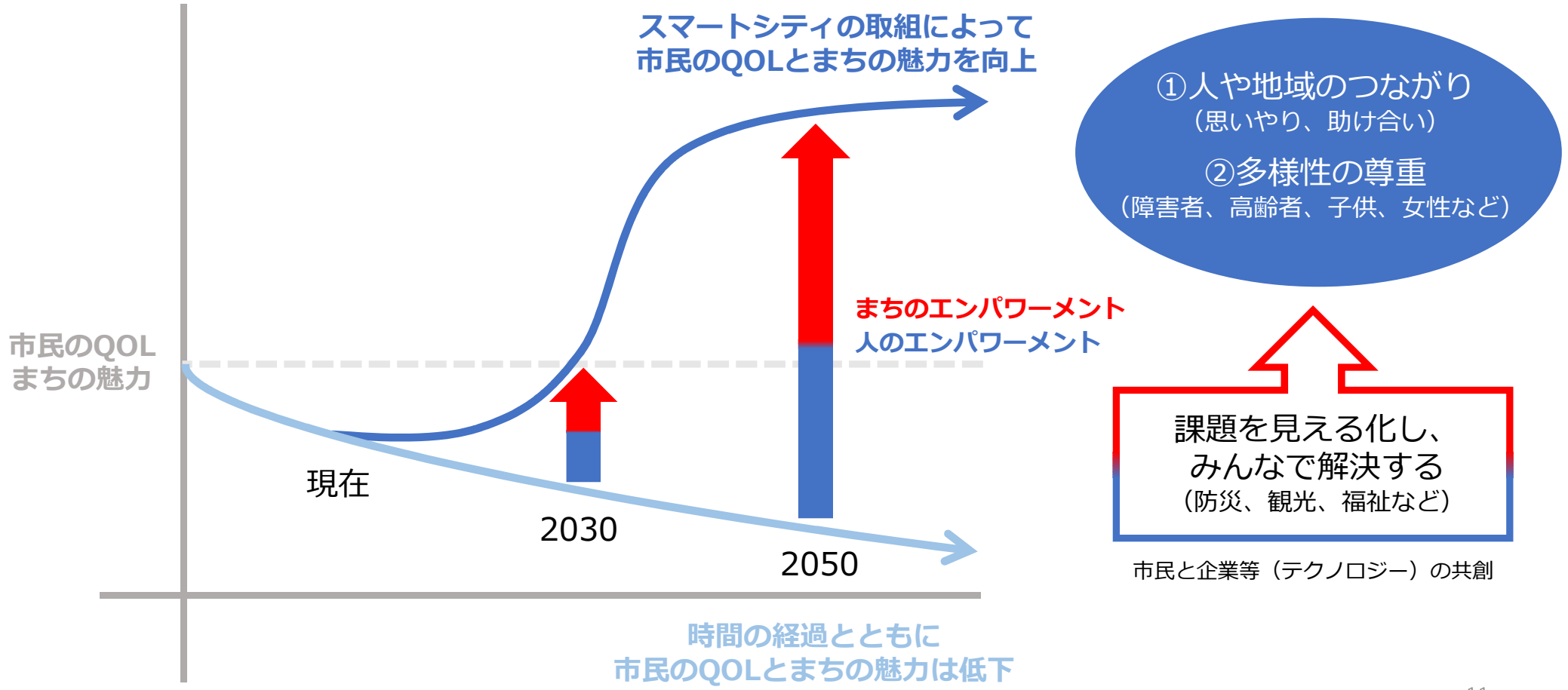
Point 3

経済的事項がある人や高齢
者などのICTの活用が困難
な人が不利になる



2 (4) 価値創造

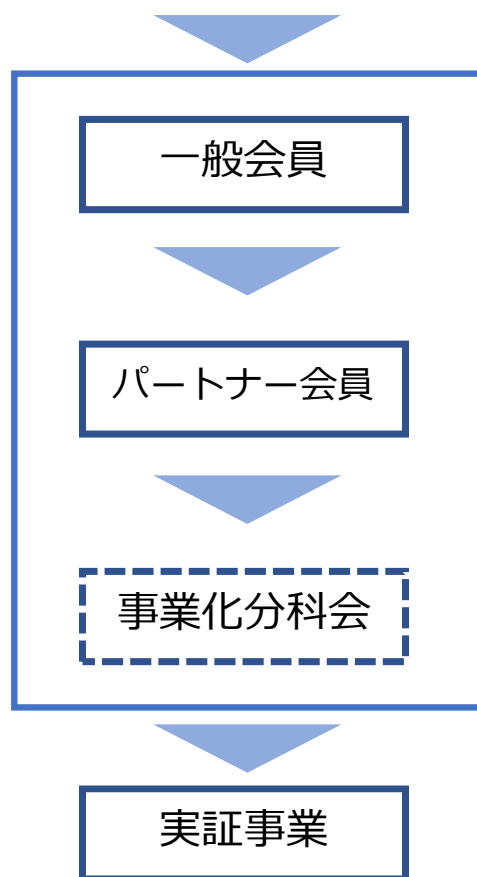
(例) 官民連携により総力戦で課題解決に取り組み、より多くの市民を巻き込む好循環モデル



2 (5) 官民研究会

【参画要件】

法人格を有する企業・団体・大学など



説明

メリット

<ul style="list-style-type: none"> ・会員としての参画の申し出を行い、登録された団体 ・会員期間：無期限 ・会費及び入会費：無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員情報を市ホームページに掲載 ・会員間の情報共有及び連携促進 ・連携プロジェクト等に関する情報提供
<ul style="list-style-type: none"> ・一般会員のうち、鎌倉市を活動領域（フィールド）とした具体的な事業の提案等の申し出を行い、登録された団体 ・会員期間：年度内、更新可 ・会費：無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の目的に合致する範囲・方法にて、会員が有する技術・サービス等の情報を市ホームページ等に掲載（協議） ・事業化分科会の設置 ・市が公募する「スマートシティに係る実証事業」に応募可
<ul style="list-style-type: none"> ・提案会員（パートナー会員）の希望により、分野横断的な取組又はデータ利活用の推進に資する事業化に向けた調査、研究、検討及び実証等を行う事業化分科会を設置できる ・活動期間：年度内、更新可 ・活動費用：分科会メンバーが負担（協議） 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会の目的に合致する範囲・方法にて、会員の活動計画・成果及び報告の情報を本市ホームページ等に掲載（協議） ・市が公募する「スマートシティに係る実証事業」に応募可
<ul style="list-style-type: none"> ・市が「スマートシティに係る実証事業」を公募 ・実証費用：実施者（企業等）が負担 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参画の仕組みを通じた市民ニーズ・地域課題の確認 ・市内の実証フィールドの調整・提供 ・法令等の手続きの確認及び関係機関への橋渡しの調整、国家戦略特区の活用等 ・メディア等を通じたPR（プロセス及び結果）

2 (6) 一般会員の募集

募集対象	市内外の法人格を有する企業、団体、大学等
募集開始	令和3年10月29日（金）から
会費・入会費	無料
申込方法	市ホームページ（e-kanagawa申込フォーム）



2 (7) 次回全体会の概要

開催時期	令和3年11月下旬（調整中）
開催方法	オンライン
参加対象	一般会員のうち参加申込者
申込期間	追ってお知らせします。
開催内容	<ol style="list-style-type: none">1 鎌倉市スマートシティ官民研究会について<ol style="list-style-type: none">(1) 全体説明（パートナー会員、事業化分科会）(2) パートナー会員募集2 鎌倉市スマートシティ構想について3 鎌倉市スマートシティのスケジュールについて<ol style="list-style-type: none">(1) 全体説明（令和4年度パイロット事業）(2) 令和3年度市民対話の共有

3 スーパーシティの状況

【経過】

- 令和2年12月25日（金）スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する提案募集
- 令和3年1月29日（金）鎌倉市スーパーシティ連携事業者候補の公募選定に係る募集
- 令和3年2月22日（月）連携事業者候補の公募選定結果の通知
- 令和3年3月13日（土）鎌倉市スーパーシティオンライン市民説明会の開催

令和3年4月16日（金）スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する提案書の提出

- 令和3年5月17日（月）スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する提案の有識者ヒアリング
- 令和3年8月6日（金）第1回スーパーシティ型国家戦略特別区域の区域指定に関する専門調査会
- 令和3年8月24日（火）スーパーシティに関する規制改革などの再提案の募集

令和3年10月15日（金）スーパーシティに関する規制改革などの再提案書の提出

▶詳細は、次のホームページをご覧ください。内容は順次更新します。

【URL】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/smartcity/super_saiteian.html